



学校教育目標

豊かな心を持ち、自ら学ぶ子ども

- ◇自分で考え、行動できる かしこい子
- ◇相手の立場に立ち、思いやれる やさしい子
- ◇心とからだをたがやし、いきいきと取り組む げんきな子

- ・保護者、地域の方の願い
- ・時代の要請・社会の変化
- ・地域の実態
- ・児童・学校の実態
- ・前年度学校評価
- ・各種学力調査、スポーツテスト
- ・友だちアンケート、生活アンケート
- ・説明責任と情報開示

- ・学習指導要領
- ・山梨県教育大綱
- ・山梨県教育振興基本計画
- ・山梨県学校教育指導重点
- ・韮崎市第7次総合計画
- ・韮崎市教育大綱

目指す子どもの姿

〈知〉かしこい子 〈徳〉やさしい子 〈体〉げんきな子
 〈知・徳・体の調和のとれた児童の育成〉
 〈当たり前のことが当たり前のできる児童〉

目指す教職員の姿

- 愛情と情熱をもった先生
- 自ら学び指導力向上に努める先生
- 率先垂範できる先生

目指す学校の姿

- 安全で安心できる学校
- 学ぶ喜びあふれる学校
- 理想を共有し地域とともにある学校

学校経営の方針

『凡事徹底』を芯柱にした教育活動の推進

〈当たり前のことが、当たり前のできる児童の育成〉

- 1 当たり前のこと（凡事徹底）10か条の取組（「時を守り、場を清め、礼を尽くす」…時間、掃除、あいさつの徹底）
- 2 当たり前のことが、当たり前のできる『凡事徹底』を実現するための3つの活動
 - ①心を耕す道徳教育の充実
 - ②耕した心に「方向性」を与える学級力向上プロジェクトへの取組
 - ③実際に動き出し、自主的に活動する児童会活動

教育課程

- ◇地域や児童の実態に即した教育目標の設定
- ◇知・徳・体の調和のとれた教育課程の編成と実施
- ◇カリキュラムマネジメントの実現
- ◇各教科における1人1台端末の適切な活用
- ◇特別支援教育の充実
- ◇情報教育、環境教育、福祉教育、郷土学習の充実

確かな学力

- ◇教員一人一人の指導力・学校の教育力の向上
- ◇基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着
- ◇「主体的・対話的で深い学び」の実現
- ◇1人1台端末を積極的に活用し、学びの質を転換する授業改善
- ◇県教委が作成した電子副教材の活用
- ◇プログラミング教育の計画的な実施

豊かな心

- ◇「学級力向上プロジェクト」の取組の充実
- ◇児童理解や居心地のいい学級づくり
- ◇hyper-QUを活用した学級集団と個の分析
- ◇特別の教科「道徳」の時間を要とし、教育活動全体を通じた道徳教育の充実
- ◇道徳的な判断力・道徳的実践力の育成
- ◇豊かな感性の醸成
- ◇人権教育の推進といじめを許さない集団づくり・学校風土の醸成

健やかな体

- ◇運動の日常化による基礎体力の向上
- ◇本校の課題を踏まえた「健康・体力づくり一校一実践運動」への取組の充実
- ◇朝食摂取、十分な睡眠等、基本的生活習慣の定着
- ◇学校保健委員会、保護者と連携した健康教育の充実
- ◇栄養教諭による食に関する指導の充実
- ◇感染症予防や熱中症対策の徹底

安全・安心な学校

- ◇交通ルールを守り、安全な登下校ができるよう交通安全指導や登下校指導の徹底
- ◇スクールガードボランティアと連携した安全確保
- ◇通学路の危険箇所の把握と必要な改善
- ◇危機回避能力を育てる年4回の避難訓練の実施
- ◇施設・設備の安全点検・整備の確実な実施
- ◇学校安全計画及び防災・防犯等の危機管理マニュアルをより実効性のあるものに改善

家庭・地域・関係機関との連携

- ◇学校評価の実施と確実な改善
- ◇自己評価、学校関係者評価を踏まえた学校改善計画の作成
- ◇目指す子ども像の共有
- ◇開かれた学校づくりと信頼される学校づくりの推進
- ◇甘利教育推進委員会の実施と活用
- ◇地域の教育素材開発と人材の活用(教育ボランティア)
- ◇SC、SSWの活用を推進し、教育相談や関係機関と連携した支援体制の充実

教職員の資質能力の向上(チーム甘利)

- ◇専門職としての資質向上
- ◇教職員相互の協力・協同による学校運営
- ◇目指す学校の姿、目指す教職員の姿の具現化
- ◇報告・連絡・相談・確認の徹底
- ◇情報と方針の共有化